

ボツワナ共和国月報(2024年11月)

主な出来事

【内政】

- ボコ新大統領が誕生
- ボコ新内閣の組閣と省庁改編
- 前与党BDPの体制
- ボコ大統領及びハオラテ副大統領の給与カット
- ボコ大統領の所信表明演説
- カーマ元大統領、バングワト族の首長へ復職

【外政】

- ボコ大統領、ケニア副大統領と二国間会談を実施
- ボツワナ国籍者への英国電子渡航認証の導入
- 第3回国連内陸開発途上国会議の受入中止
- マホシSADC事務局長、ボコ大統領を表敬
- ボコ大統領、2024年世界こどもの日記念式典に出席
- ボコ大統領、SADC特別首脳会合に出席
- 国際機関幹部、ブタレ国際関係大臣を表敬
- ボコ大統領、ベルギーを訪問
- ボコ大統領、ジブチ大統領特使から書簡を受領
- ブタレ大臣、EU外務・安全保障政策局経済・グローバル問題担当事務次長と会談

【SADC関連】

- SADC特別首脳会合の開催

【経済】

- ボツワナ銀行第5回金融政策会合開催ー政策金利は1.9%を維持ー
- ボツワナにおけるダイヤモンド原石産地証明ノードの設置
- 園芸作物輸入禁止措置の見直し
- 10月のインフレ率は1.6%ー前月より0.1ポイント上昇ー
- 9月の国際商品貿易統計ー13か月連続の貿易赤字ー

【当館関連行事】

- 第11回都筑・ボツワナ交流児童画展
- 令和6年度スポーツ外交推進事業
- 横浜市立茅ヶ崎小学校への在外公館長表彰

【内政】

- ボコ新大統領が誕生
1日午後、総選挙の開票結果を受け、テレンス・ランノワネ最高裁長官はドウマ・ギデ

オン・ボコ候補(民主的改革のためのアンブレラ(UDC)代表)を新大統領と宣言した。一方、これに先駆け、同日午前、マシシ前大統領は会見で敗北を認めた。

4日、大統領執務引渡し式が大統領執務室において執り行われ、マシシ前大統領からボコ新大統領への受け渡しが和やかに行われた。同式典には、大統領顧問や政府高官らが出席した。

5日、ボコ新大統領は翌6日に特別選出議員の選出を実施すること、並びに7日午後及び8日を祝日とする旨発表した。

6日、特別選出議員選出が国民議会で実施され、ボコ新大統領の推薦した6人が承認された。6人中3人は女性で、カーマ政権時代に史上最年少で閣僚を務めたケネウェンド氏(女性)が含まれる。

7日、議長、副議長及び副大統領の選出が国民議会で実施され、ケオラベツェ議長、マニェン副議長(女性)、ハオラテ副大統領が選出された。

8日、ボコ新大統領の大統領就任式が国立競技場で行われ、多くの市民に加え、カーマ元大統領やマシシ前大統領等歴代の大統領や前政権の閣僚が参列したほか、前日に査証発給拒否を解除されたジュリアス・マレマEFF党首、中国系アメリカ人俳優リック・ユン氏らも参列した。

○ ボコ新内閣の組閣と省庁改編

ボコ新内閣の組閣は、11日、14日及び15日の3回に分けて発表され(複数回に分かれることは異例)、1回目の発表で省庁改編が実施されることも発表された。12日付政府官報にて省庁改編の全容が発表され、省庁数は18で維持されるものの、殆どの省庁が再編の対象となり、外務省も国際関係省へと改称された。新内閣には、ディコロティ国土・農業副大臣らBDP時代の閣僚経験者3名が含まれる。

○ 前与党BDPの体制

7日、ボツワナ民主党(BDP)中央委員会は会合を開き、今次選挙の敗因を検討した。27日、党幹部は地方支部代表らと会合を開いた。その後の記者会見で、マシシ党首は、ダダ財務責任者が引退する、予定どおり2025年に党幹部選挙を実施する等を述べた。

○ ボコ大統領及びハオラテ副大統領の給与カット

14日、ハオラテ副大統領は、報道陣に対し、当初の想定よりも国庫の状況が悪いことに言及した上で、国を存続させるためにあらゆる手を尽くさなければならないとし、ボコ大統領及び自身の給与を1年間減額支給すると述べた。

○ ボコ大統領の所信表明演説

19日、ボコ大統領は、所信表明演説において、政権発足後の100日間を「刷新」と「回復」の期間とし、政府の透明性と説明責任を担保しつつ「信頼性の回復(グッド・ガバナンス)」、「経済活性化」及び「公正な社会資本形成」を3本柱とする政策を実施、そして100日間経過後は、持続可能な成長の基盤づくりに向けた長期改革を実施し、具体的には、投資環境整備や国土の均衡のある発展を進めていくと述べた。優先分野は、経済多角化、公共部門改革、貿易促進、FDI誘致、持続可能な環境整備、食料安全保障、産業振興、技術革新及び国際協調等としている。

○ カーマ元大統領、バングワト族の首長へ復職

29日、カーマ元大統領は、セロウェでバングワト族の首長への復職式を行った。式には、エスワティニのグドゥーザ王子のほか、ハオラテ副大統領も出席し祝辞を述べた。また、元大統領は演説の中で、自身への起訴は全て取り下げられたことを明らかにした。

○ CEDA汚職事件

27日、ンツィマ通商・起業大臣は、国民起業開発庁(CEDA)を巡る汚職に係る捜査が、司法関係者及びフォレンジック会計担当者を含む適切なチャネルを通して実施されていることを明らかにした。CEDAに対しては、18日、内部告発者によるデモ行進や国民議会における請願がおこなわれていた。

【外政】

○ ボコ大統領、ケニア副大統領と二国間会談を実施

9日、ボコ大統領はキンディキ・ケニア副大統領とハボローネにて二国間会談を実施した。同副大統領は、オディンガ・元ケニア首相のアフリカ連合委員会議長職立候補について言及した。

○ ボツワナ国籍者への英国電子渡航認証の導入

14日、国際関係省は2025年1月8日より、ボツワナ国籍者が英国へ渡航する場合、英国電子渡航認証(ETA)を英国ETA APP又はオンラインにて申請することが必要となる旨公表した。ETAは、英国を訪問するボツワナ人にとってより迅速で安全な、より合理化されたデジタル入国管理システムになるとみられる。

○ 第3回国連内陸開発途上国会議の受入中止

14日、国際関係省は、ボツワナが第3回国連内陸開発途上国(LLDC)会議の開催を辞退した。本会議は、ルワンダが開催を断念したことを受け、マシシ前大統領が10月にボツワナへの招致を発表し、12月10日から13日までハボローネで開催される予定だ

った。

○ マホシSADC事務局長、ボコ大統領を表敬

15日、マホシSADC事務局長はボコ大統領を表敬した。ボコ大統領は、ボツワナ政府がSADCとその役割を歓迎し、ボツワナが国際政治において有意義かつ影響力のある役割を果たすために、アフリカ大陸内だけでなく、アフリカ大陸全体で意義ある変化を導くことにより関与したいと述べた。

○ ボコ大統領、2024年世界こどもの日記念式典に出席

16日、ボコ大統領はビクトリア・フォールズで開催された「世界子どもの日」地域記念式典に出席した。若者の代表者による情熱的なプレゼンテーションを受け、ボコ大統領は、「これらの要望を私の責任として受け止め、子どもたちと共に、彼らを社会の中心に据えるために彼らと仕事をしていくつもりである旨を述べた。ブタレ国際関係大臣、カフェラ-モコカ子ども福祉・基礎教育大臣、及びチョンボ青年・ジェンダー問題大臣が同行した。

○ ボコ大統領、SADC特別首脳会合に出席

20日、ボコ大統領はハラレにて開催されたSADC特別首脳会合に出席した。ブタレ国際関係大臣及び国際関係、防衛、安全保障関連担当の政府高官が同席した。これに先立ち、19日、ブタレ国際関係大臣は閣僚会合に出席した。

○ 国際機関幹部、ブタレ国際関係大臣を表敬

22日、アフリカ経済会議(AEC)2024参加のため当地滞在中のガテテ・UNECA事務次長兼執行書記官、エザコンワ・UNDP事務次長兼アフリカ局長、及びウラマ・AfDBチーフエコノミスト兼副総裁がブタレ国際関係大臣を表敬した。

○ ボコ大統領、ベルギーを訪問

26日～27日、ボコ大統領はアントワープで開催された第3回「FACETS会議(FACETS 2024)」に参加するためベルギーを訪問した。出席の傍ら、ボコ大統領は、ドウ=クロー・ベルギー首相、ミシェル・欧州理事会議長と会談を行い、ボツワナとEUとの関係や相互利益に関する問題を議論したほか、ダイヤモンド研磨を行うDiamcad社での最先端技術の視察や、クック・デビアスCEOとの朝食会議を主催した。本訪問にはカオネ・ボコ大統領夫人、ブタレ国際関係大臣、ケネウエンド鉱物資源・エネルギー大臣が同行した。

○ ボコ大統領、ジブチ大統領特使から書簡を受領

29日、ボコ大統領はゲレ・ジブチ大統領の特使から書簡を受領した。ボコ大統領は特使を歓迎し、集中的に人々に焦点を当てた指導力の必要性及びアフリカの協力を促進するための多国間主義を訴えた。

○ ブタレ大臣、EU外務・安全保障政策局経済・グローバル問題担当事務次長と会談

29日、ブタレ国際関係大臣はブリュッセルにて、モルドゥEU外務・安全保障政策局(EEAS)経済・グローバル問題担当事務次長と会談した。両者は共通の関心事項について議論し、ボツワナとEUが協力分野をさらに広げる方法を模索した。

【SADC関連】

○ SADC特別首脳会合の開催

20日、南アフリカ開発共同体(SADC)の特別首脳会合が、ハラレにおいて開催された。本会合は、コンゴ(民)及びモザンビークの情勢について言及したほか、SAMIDRCの派遣期間を1年間延長することが決定した。

【経済】

○ ボツワナ銀行第5回金融政策会合開催ー政策金利は1.9%を維持ー

7日、ボツワナ銀行金融政策委員会(MPC)は、金融政策金利(MoPR)を引き続き1.9%とした。同委員会は、今後の見通しについて、国内の経済成長は、短期的には低迷し、中期的には緩やかに回復するとしており、インフレ率は中期的には同行の目標範囲(3%から6%)内に収まることを予想しており、こうした見通しを踏まえ、政策金利を現状維持とした。

○ ボツワナにおけるダイヤモンド原石産地証明ノードの設置

26日及び27日、ベルギー・アントワープで開催された「FACET2024」(ダイヤモンド産業界の国際会議)における、ボツワナへのノード(非ロシア産ダイヤモンドを認証するための台帳管理拠点)設置決定に関するボツワナ及びG7共同声明を受け、ボコ大統領は、自国がダイヤモンド業界における倫理的スチュワードシップ(責任ある行動規範)を約束すると述べた。

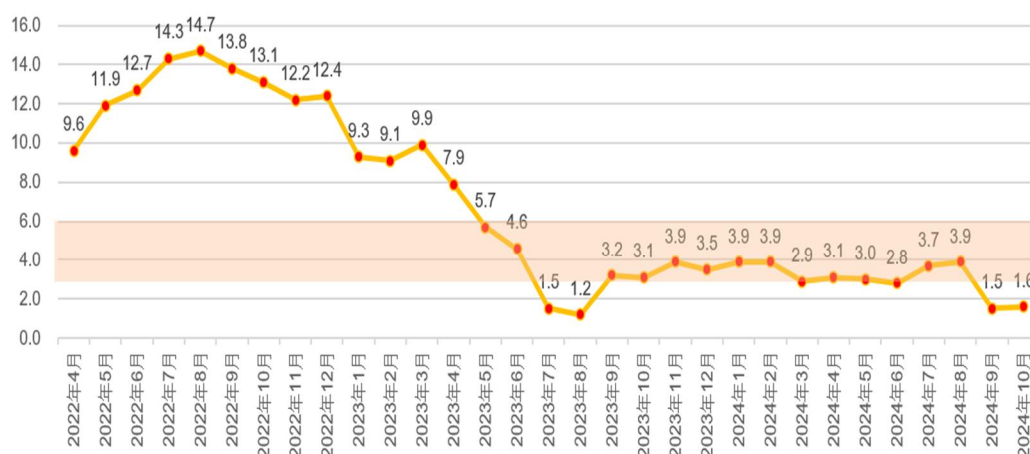
○ 園芸作物輸入禁止措置の見直し

チンボンビ国土・農業大臣は、食料安全保障と南アなど近隣諸国との緊張関係を考慮し、ボツワナが実施中の園芸作物輸入禁止措置を見直すことの重要性を強調した。同禁止措置は、2022年1月に2年間の期限付きで導入されたが、2025年12月までの延長措置が講じられている。

○ 10月のインフレ率は1.6%—前月より0.1ポイント上昇—

10月の年間インフレ率(前年同月比)は1.6%となり、前月のインフレ率(同)1.5%から0.1ポイント上昇した。分野別寄与度は、上位から食品・非アルコール飲料(0.8%)、雑貨・サービス(0.7%)。一方、運輸はマイナス0.8%。

(図: 最近のインフレ率の推移)



注: ボツワナ銀行中長期インフレ目標 (3%から6%)

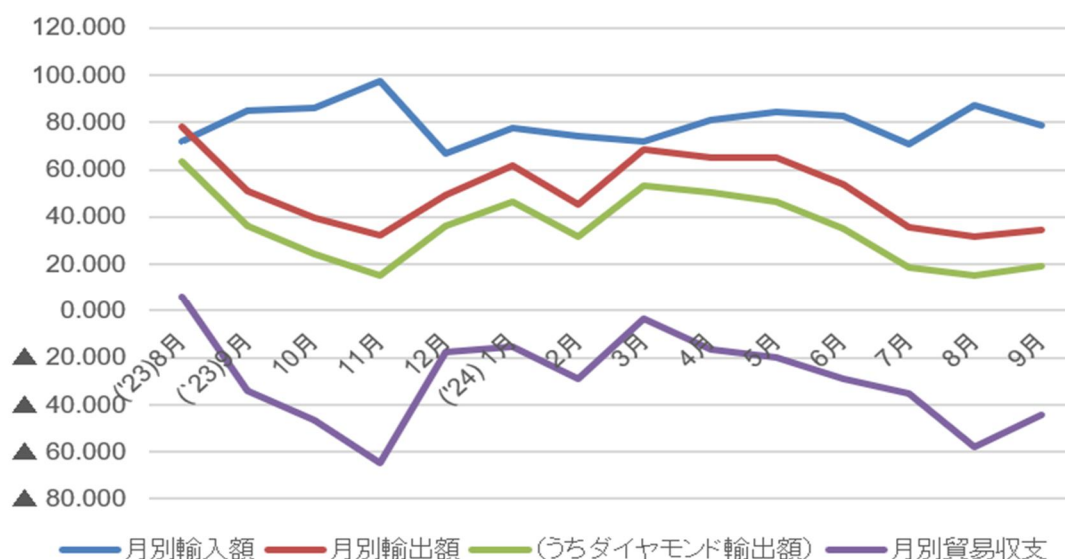
○ 9月の国際商品貿易統計-13か月連続の貿易赤字-

9月の輸入総額は78.651億プラとなり、前月の87.307億プラ(改定値)から9.9%の減少、一方で輸出総額は、34.345億プラとなり、前月の31.526億プラ(改定値)から8.9%増加した(図)。この結果、同月の貿易収支はマイナス44.306億プラの赤字となり、2023年9月以降13か月連続の貿易赤字となった(同)。

(図：月別貿易収支の推移：2023年8月から2024年9月)

	('23)8月	('23)9月	10月	11月	12月	('24)1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月別輸入額	71,991	84,925	85,980	97,396	66,867	77,444	74,550	72,012	81,350	84,616	82,863	70,921	87,307	78,851
月別輸出額	78,364	50,980	39,459	32,484	49,466	61,897	45,567	68,681	64,989	64,950	59,816	35,507	31,526	34,345
(うちダイヤモンド輸出額)	68,615	35,999	24,185	15,282	36,332	46,231	31,895	59,954	50,597	46,681	35,043	18,523	15,040	19,513
月別貿易収支	6,373	▲33,945	▲46,521	▲64,982	▲17,400	▲15,547	▲28,383	▲3,331	▲16,361	▲19,866	▲29,047	▲35,414	▲55,781	▲44,306

注)2024年9月は速報値



(参考) 分野別内訳：上位5分野 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	ダイヤモンド 19.6	燃料 17.6	飲食品等 15.5	機械・電機 13.1	化学・ゴム製品 10.9
輸出	ダイヤモンド 56.8	銅 24.0	機械・電機 6.4	塩・ソーダ灰 3.0	肉・肉製品 1.2

(参考) 国別内訳：上位5か国 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 59.7	ナミビア 17.2	モザンビーク 4.5	中国 3.5	カナダ 3.1
輸出	南ア 23.0	UAE 21.1	ベルギー 12.4	豪州 11.7	中国 11.1

【当館関連行事】

○ 第11回都筑・ポツワナ交流児童画展

6日及び7日、横浜市都筑区等主催の「第11回都筑・ポツワナ交流児童画展」が、当館後援事業としてハポローネ市内のベン・テマ小学校にて開催され、初日オープニング式典に当館小川参事官、同校教職員、児童3年生ほか約150名が参加した。また、13日～16日、ポツワナ・ナショナル・アートギャラリー)でも展示会が開催され、一般市民

や近隣小学校児童らが両国児童の児童画鑑賞を楽しんだ。なお、12日に開催された同会場でのオープニング式典では、令和6年度外務大臣表彰を受賞したベン・テマ小学校に対し、外務大臣表彰の伝達式が行われ、大森大使、当地外務省、ベン・テマ小学校関係者他約50名が参加し、同校校長から、同授賞に対する謝辞が述べられた。

○ 令和6年度スポーツ外交推進事業

20日、ハボローネ市内のナショナルスタジアムにて、大森大使出席の下、公益財団法人日本バドミントン協会から提供を受けたバドミントンラケット、シャトル、ラケットカバー等のバドミントン用具の寄贈式が行われ、ケレベン・スポーツ・芸術大臣、バドゥビ・バドミントン協会会長ほか約30名が参加した。ケレベン大臣は、日本政府及び寄付を行った日本国に対し、感謝の意を表した。寄贈された用具は、ボツワナ・バドミントン協会が管理し、今後当地のバドミントンの普及活動、選手の育成・強化のために使用される予定。

○ 横浜市立茅ヶ崎小学校への在外公館長表彰

26日、大森大使は横浜市立茅ヶ崎小学校に公館長表彰を授与した。同校は、児童画を通じた日本とボツワナとの文化交流促進への長年の貢献を通じた日・ボツワナの相互理解促進への功績を讃えられ、同賞を受賞した。

(了)